

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

新和小学校



学校の教育目標（目指す子ども像）

みんなで作る みんなの学校

～児童・教職員・保護者・地域のすべての人の笑顔のために～

自分で考え、自ら行動する子 みんなを大切にできる子 よりよい未来を切り開く子



本校は、さいたま市教育委員会（令和元年度から3年度）・埼玉県学校給食会（令和2年度から3年度）の委嘱を受け、食育の研究を通して「未来をたくましく生きる、食べることの大好きな新和っ子の育成」に取り組んでいる。

■所在地：さいたま市岩槻区尾ヶ崎 1252 ■電話：048-798-0003 ■FAX：048-798-8732
 ■交通：JR 武蔵野線 埼玉高速鉄道線 東川口駅北口 国際興業バス「岩槻駅」行き
 バス停「尾ヶ崎」下車（約17分） バス停から徒歩約7分

01 地域の農家の方との地元野菜等の栽培



本校では、農家の多い地域性を生かし、地元野菜等の栽培や収穫などの体験学習を実施しています。地域の農家の方々を招いて、もちの木学級はヨーロッパ野菜、3年生はクワイ、5年生は米の育て方を教わったり、育てたものを実際に食べたりすることによって、地域の食文化への興味・関心を高められるようにしています。



また、さいたまヨーロッパ野菜研究会と連携し、農家の方を招いて交流会を行ったり、ヨーロッパ野菜を使った献立を給食で出したりすることで、農作物の多様性を学ぶ機会としています。

これらの取組を通して、SDGsの目標2「飢餓をゼロに」に寄与していきたいと考えています。

02 「食品ロス」に向けた取組



本校では、まだ食べられる食材や食べ残した食材を捨ててしまう「食品ロス」を減らす取組を行っています。

給食では、皮ごと食べられるリンゴなどを皮つきで出したり、ブロッコリーの芯なども捨てずに調理して出したりしています。食材を余すことなく使用しています。

残菜の量を減らすための取組としては、「好ききらいなく食べることを生活目標として設定することで、給食の食べ残しについて考える機会としています。

また、自分で決めた量の給食が食べられたかどうか分かる掲示物を委員会の児童とともに作成することで、児童一人一人の食べ残しを減らす意識を高めています。

これらの取組を通して、SDGsの目標2「飢餓をゼロに」、目標12「つくる責任つかう責任」に寄与していきたいと考えています。

